

2020年度 小委員会活動成果報告

(2021年2月8日作成)

小委員会名	壁式構造配筋指針改定小委員会	主 査 名：時田伸二 就任年月：2020年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (壁式構造運営委員会)	委員長名：塩原 等 主 査 名：稲井栄一
設 置 期 間	2020年4月 ～ 2024年3月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>改定から10年の経過を踏まえ、その間の各種学会刊行物の改定を反映するとともに、型枠コンクリートブロック造を鉄筋コンクリート組積造に見直し、壁式プレキャストコンクリート造を追加した「壁式構造配筋指針・同解説(改定)」の改定原稿を編集</p> <p>初年度：改定内容の整理を行う。改定原稿を編集・修正する。 2年度：改定原稿 本文・解説(案)をまとめる。 3年度：改定原稿を編集し、壁式構造運営委員会の査読を受け、原稿を修正する。 4年度：構造本委員会の査読を受け、原稿修正を行い、刊行する。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	主査：時田 伸二(都市再生機構) 幹事：井上 芳生(INO建築構造研究室)、黒木 正幸(大分大学) 委員：岡部喜裕(力体工房)、中島幹雄(Studio Stem)、向井智久(建築研究所)、西田哲也(秋田県立大学)、西野広滋(トーホー)、高橋和雄(太陽エコブロック)、青木功(エスビック)、富岡俊輔(赤城商会)、安藤理人(小黒組)、平松道明(大成ユーレック)、飯塚正義(プレハブ建築協会)	
設置WG (WG名：目的)	壁式RC造関連配筋検討WG：8章～11章の改定に必要な本文・解説を検討 補強組積造関連配筋検討WG：12章～14章の改定に必要な本文・解説を検討	
2020年度予算	130,000円	ホームページ公開の有無：有 委員会HPアドレス http://news-sv.ajj.or.jp/kouzou/s5/s550/index_s550.htm

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	6回(年度内計画を含む) (小委員会 3回、壁式検討WG 2回、補強検討WG 1回)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	2020年度大会(関東)諸行事は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 改定原稿(案)を作成し、関連法令・規準類との整合を整理中 2. 運営委員会の他の小委員の進捗に合わせ、スケジュールを見直した 3. WGを設け課題点の精査中
委員会活動の問題点・課題	1. 他の小委員会等との連携に配慮が必要。特にスケジュールの調整。